事業計画書

【2025年度】

自 2025年4月 1日
至 2026年3月31日

一般社団法人 愛知医科大学同窓会

2025年度 事業計画

2025年3月8日(土)

【はじめに】

昨年は、年明け元旦の能登半島地震に始まり災害や猛暑に悩まされ厳しい現実のニュースばかりの中、スポーツ界では大谷翔平、パリ五輪をはじめとして明るいニュースが多い1年でした。今年はというと、いわゆる2025年問題、第一次ベビーブーム（1947～1949年）に生まれた「団塊の世代」が75歳以上になる。つまり、国民の5人に1人が後期高齢者、約3人に1人が65歳以上の高齢者という超高齢化社会となり、様々な問題が顕在化すると予測されています。このような状況下においてこそ、同窓会の会員相互の連携、大学との連携を深めていくことが重要かと思えます。

新型コロナウイルス感染症が2023年5月に感染症法の2類相当から5類に移行してからは、街中でのマスク着用者も随分と少なくなり、飲食街の人通りもコロナ禍前に戻りつつあります。昨年度は、当同窓会におきましても、一昨年に比べ支部会、クラス会の開催も活発になりコロナ禍前に戻りつつあります。

こうした中、本年度は、昨年度にも増して、理事長が就任時に今後の指針として作成した8本の柱の内の一つである全国支部会と本部のより一層の連携体制の強化に注力していく所存です。また、財務面に於いては、昨年同様、事業財源の確保と事業収支の均衡を図りながら、優先課題に取り組んで参ります。

新入生会員の会費につきましては、大学に委託徴収をお願いして安定的な財源を確保できることとなっていますが、これに甘んじることなく、会費未納入者の方に対しては、定期的且つ継続的に請求に努め、1件でも多くの徴収を図ってまいります。そのためには、会員情報（現住所・勤務地・メールアドレス等の基本情報）の収集からはじまり、会員ニーズの把握に努めるとともに、会費納入に繋がる魅力ある事業運営並びに会員相互の“絆”の強化に係る諸施策を企画、立案し、会員の帰属意識を持続可能とする取組みを行うとともに、費用対効果を考慮した運営を行っていくこととします。

会員各位には、同窓会への一層のご理解・ご支援をお願い致します。

【事業計画】

（目的）

2025年度事業計画は、来る50周年等、中長期計画の策定、春の定時社員総会の実施、及び同窓会会員相互の連携を密にして一層の帰属性と、“絆”意識の高揚を図ることを目的とします。

一般社団法人として、運営・管理体制の整備は、「愛橋会」の安定的発展と円滑な運営に帰するため、中・長期的な視点から段階的見直しと施策により、その基盤の強化をさらに推進するものとします。

1 運営委員会事業計画

同窓会総会の盛大かつ円滑な運営について提言、協力援助を行う。

- (1) 同窓会事業活動の積極的かつ円滑な推進のために、組織活動を継続する。
- (2) 収入・支出について、財務担当理事と協議し、是正点を検討し対策を講ずる。
- (3) 会員情報の在り方について、個人情報保護と会員ニーズの視点から基本方針を決定する。
- (3) 大学との共同で会員情報のデータベース化を図り、会員情報の一元化と業務効率の合理化を図る。
- (4) 会員への情報発信ツールとしてSNS等の活用を検討する。
- (5) 支部会活動を更に充実すべく、定時社員総会に全国支部長を招待する。
- (6) 地域医療に関する大学の教育・実習へ協力支援する
- (7) 在学生を応援し、同窓会事業への参加を図る。
- (8) 同窓生や医学教育センターの協力を得て、会議等への講演（生涯教育）を行う。
- (9) 卒後臨床研修センターとの連携を深めて、初期研修の充実と活性化のために協力援助する。
- (10) 大学と連携し、同窓生の動向や活躍などの各種情報の収集に努める。

- (11) 大学が行う事業を積極的に支援する。
- (12) 会員に対して寄附推奨を行う。
- (13) 同窓生互助会制度の推進に努める。
- (14) 会員のメールアドレスの推進に努める。

2 広報委員会事業計画

- (1) 愛橋会会報を、年1回(9月)発行する。
(又は「愛橋会会報は、ホームページの活用及び掲載内容の充実を図る。」)
- (2) 同窓会ホームページの充実(迅速性及び利活用)と維持更新を図る。
- (3) 他の委員会と協働し、同窓会と各委員会事業への会員参加をPRする。
- (4) 昨年からは開始したニュースレターの内容の充実を図る。

3 学術・教育委員会事業計画

- (1) 愛橋学術賞(褒賞制度)について、愛橋会会報やホームページからの案内、大学医局長・講座長・各同窓会支部長宛及び個人宛にメールにて広く知らせる。
- (2) 愛橋学術賞受賞者(候補者)を決定し、同窓会総会および愛橋会会報・ホームページに発表・報告する。
- (3) 愛橋医学奨励賞(学生対象の褒賞制度)(候補者)を決定し、愛橋会会報・ホームページにおいて報告する。
- (4) 本同窓会会員が学会長として主催する学会(全国規模・地方会規模)に対して助成し、愛橋会会報・ホームページにおいて報告する。
- (5) 本同窓会会員本人が留学者で、担当教授の推薦があるものに助成し、愛橋会会報・ホームページにおいて報告する。
- (6) 本学後輩医師の生涯教育、特に研究(英文論文作成等)に対するモチベーションアップに繋がる指導等を行い同窓会の存在意義を図る。

4 学生・支部会支援委員会事業計画

- (1) 表彰に値する学生を発掘し、学生表彰を行い同窓生に周知し、合わせて同窓会活動の理解を深めるとともに、また同窓生としての帰属意識を高めていく。
- (2) 入学・卒業において記念品の贈呈を行うとともに、卒業式において成績優秀者に同窓会長賞を贈呈する。
- (3) 4年次生の実習にともなう長白衣を贈呈する。
- (4) 大学実行委員(4年生)との交流を図り、また同窓生としての帰属意識を高めていく。
- (5) 専門医制度の変更にとともなう専攻医が減少傾向にある。地域卒学生の支援とともに、病院の専攻医募集を支援する。
- (6) 学生会員と若手会員に対して、キャリアビジョンを提示する目的で、交流会を企画する。
- (7) 同窓会活動が学生会員に見える形として実感してもらう活動の一環として、引き続きコーヒーサービスを実施する
- (8) 医大祭実施内容について、学生と協議を行う。

5 ダイバーシティ推進委員会事業計画

- (1) 男性・女性問わず、ひとりの医師として、多様性のある働き方への支援の在り方を踏まえ、同窓会活動に繋げていくことを目的として行う。
- (2) 学内組織の中での、男女共同参画の活動を同窓会として支援する。
- (3) 母校の中での女性を含む同窓生のキャリアアップにつながる活躍を支援する。
- (4) 大学と共同して男女共同参画セミナーの開催を行い、同窓生・学生等に同窓会活動を周知させていく。
- (5) 平成29年1月に開設した同窓会男女共同参画委員会相談窓口を引き続き充実を図る。
- (6) 卒業生に対するキャリア支援の一環として、講座からの依頼に基づき研修医に役立つ情報を発信する。

6 周年事業準備委員会関連事業計画

- (1) 同窓会 50 周年を迎えるにあたり、会員の連携をさらに密にしていいため、具体的な取り組みに関する協議、ならびに意見交換を行い、周年事業準備の推進を行う。
- (2) 周年事業の提言を行い、募金活動を行う。
- (3) 「愛橋会記念事業積立基金」は、資金収支の平準化を目的として、継続して行う。
- (4) ふるさと納税を利用した大学の寄附に対する支援を行う。

7 支部会及びクラス会振興事業計画

- (1) 全国的に新たな支部会の設立を推進し、同窓生としての帰属意識を高める。
- (2) 各支部会及びクラス会の活発な活動を支援し、同窓会への帰属意識を高める。
- (3) 名古屋市内の支部を統合した組織の育成に努める。

8 大学関連事業計画

- (1) 学校法人愛知医科大学理事・評議員会に出席し、法人側との意見交換ならびに協議を行う。
- (2) 理事長、学長、大学役職者との懇談会を開催し、情報、意見交換及び問題事項に関する協議を行う。
- (3) 大学との共同事業の計画及び実施、その他必要に応じて講演会等の開催及び講演者の派遣を検討する。
- (4) 学生教育を支援し、臨床実習の充実、国家試験合格率の向上への対応を図る。
- (5) 大学との間で締結した愛橋修学助成金給付に関する協定書の更新。

9 学内機関関係事業計画

- (1) 春の医学部後援会定期総会（国試懇談会）に参加し、意見交換ならびに協議を行う。
- (2) 医学部後援会役員との懇談会を開催し、協議を行うとともに情報交換を図る。
- (3) 大学看護学部同窓会との交流ならびに情報交換を積極的に行う。
- (4) 医学部後援会及び看護学部父母会等と時宜、課題等について共同企画をすすめ、実施していく。
- (5) 学内昇任者との懇親会を開催し、情報、意見交換を図る。
- (6) 医学部後援会との共同事業として、国試合格者（保険料負担は医学部後援会）を対象に、国試合格のお祝いとして
①医師賠償責任保険（日本医師会の団体制度の免責 100 万円部分）と②総合生活保険（個人賠償責任補償）に
対する契約を引き続き締結する。

10 他機関同窓会関係事業計画

- (1) 私立医科大学同窓会連絡会「全国会」、「西部会」へ出席し、他大学同窓会の動向把握とともに「愛橋会」の事業推進に反映させていく。
- (2) 愛知県私立大学同窓会連合会へ参加し、県内の大学各同窓会との意見交換を行い「愛橋会」の事業推進に反映させていく。
- (3) 同県内の藤田医科大学医学部同窓会「藤医会」との協議及び懇親会を開催し、両同窓会会員相互の情報交換を積極的に推進していく。

2025年度予算（資金収支計算書）

I. 収入の部

一般社団法人愛知医科大学同窓会

科 目	2025年度予算額	2024年度予算額	2025年 度 予 算 説 明
1 会費	19,600,000円	19,650,000円	@150,000×116名新入生、一部未納者15名
2 雑収入	209,000円	42,000円	
銀行利息	209,000円	42,000円	銀行利息
その他			国内旅行傷害保険返戻金
3 寄附金			
4 団体医師賠償責任保険事務手数料	52,000円	35,000円	団体医師賠償責任保険
5 全国会受取会費			
6 記念事業積立金取り崩し			
当年度収入合計	19,861,000円	19,727,000円	
前年度繰越額	87,632,858円	87,205,858円	
収 入 合 計	107,493,858円	106,932,858円	

II. 支出の部

科 目	2025年度予算額	2024年度予算額	2025年 度 予 算 説 明
1 印刷費	1,550,000円	1,450,000円	
会報	1,400,000円	1,300,000円	定期刊行(68号、5,300部)
その他	150,000円	150,000円	
2 助成金	3,050,000円	3,000,000円	
クラス会	100,000円	100,000円	
支部会	200,000円	200,000円	
医大祭	1,000,000円	1,000,000円	
学術振興	1,100,000円	1,100,000円	愛橋学術賞、医学奨励賞
学会開催助成	200,000円	200,000円	
海外留学助成	350,000円	300,000円	
学生支援	100,000円	100,000円	
臨床研修医支援			
3 通信費	1,400,000円	1,400,000円	
発送費	1,000,000円	1,000,000円	会報68号発送費、定時社員総会等
切手他	400,000円	400,000円	NTT、ダイヤルイン、Faxサービス使用料・切手・葉書・各種郵送料(支部会、資料送付等)
4 渉外費	2,450,000円	2,410,000円	
慶弔費	100,000円	100,000円	供花・弔電
卒業時記念品	330,000円	280,000円	シヤチハタネームデユオ、同窓会長賞ほか
入学時記念品	370,000円	330,000円	トートバック、ペンライト
4年実習衣	1,300,000円	1,250,000円	
国試対策消耗品	200,000円	300,000円	
その他	150,000円	150,000円	解剖慰霊祭献花
5 委託費	1,552,000円	1,432,000円	
法務委託費	820,000円	700,000円	弁護士、行政書士費用他
会計監査委託費	132,000円	132,000円	税務申告(東桜税理士法人)
業務委託費	600,000円	600,000円	ホームページ更新、卒業パネル作成
6 税金	80,000円	72,000円	法人市県民税
7 消耗品費	650,000円	700,000円	
封筒・コピー用紙	100,000円	50,000円	
事務用品	300,000円	300,000円	文具等
コンピューター関係	150,000円	150,000円	プリンタートナー・カラーインク
その他	100,000円	200,000円	愛橋学術賞副(賞文鎮)
8 備品費	100,000円	100,000円	
コンピューター関係			
その他	100,000円	100,000円	
9 会議費	2,200,000円	2,000,000円	定時社員総会ホテル開催、支部会、懇談会、全国会、西部会、県私大連他
10 旅費	1,000,000円	1,000,000円	定時社員総会ホテル開催、支部会、懇談会、全国会、西部会、県私大連他
11 雑費(振込手数料他)	70,000円	70,000円	振込み手数料・残高証明書発行手数料
12 人件費(パート代)	3,150,000円	3,000,000円	パート給与2名分(交通費・労働保険料含)
13 リース料	520,000円	114,000円	リース契約の更新(再リース終了)
パソコン・プリンター使用料	460,000円	34,000円	パソコン・プリンターの更新
コピー機使用料	60,000円	80,000円	
14 会費徴収事業	430,000円	430,000円	SMBC会費徴収手数料(コンビニエンス専用紙)
15 名簿管理費			
16 予備費			
17 記念事業積立基金	1,000,000円	2,000,000円	
18 寄付金			
19 保険料	30,000円	30,000円	役員旅行保険
20 修繕費	42,000円	42,000円	富士フィルムビジネスインノベーションジャパン株式会社保守サービス
21 諸会費	50,000円	50,000円	
22 同窓会連絡会開催費用			
23 退職金			
24 支払手数料			
当年度支出合計	19,324,000円	19,300,000円	
当年度収支差額	537,000	427,000	
次年度繰越額	88,169,858円	87,632,858円	
支 出 合 計	107,493,858円	106,932,858円	
周年事業等積立金	58,000,000円	57,000,000円	
実質繰越額	146,169,858円	144,632,858円	